


新設！地域教養学科 — とかちと教養 —

2014年4月からスタートした地域教養学科。地域を学びのフィールドに文学、文化をはじめ歴史、自然、経済など多様な視点から社会を学ぶことができる学科です。学生たちはどのような授業を受講しているのでしょうか？今回の特集講座では、新学科の6つの講座を取り上げました。学生気分で「地域教養学科の学び」を体感してみませんか。

1 とかちの資源と経済
～常識を疑ってみよう～




6月9日(月)

十勝経済の元気の源となる十勝の資源は何か。農業、食、観光、…。さまざまな視点から十勝の強みと弱みを眺めたとき、私たちの十勝の見方はどうなるでしょうか？
教養＝常識を疑う力を発揮して、十勝を見つめ直してみませんか。

地域教養学科
津久井 寛
教授

道民カレッジ/
ほっかいどう学コース 1単位

2 郷土作家研究 歌人 中城ふみ子




6月10日(火)

病床に付き添った時事新報記者、若月彰が書いたルポを原作として作成された映画、「乳房よ永遠なれ」。死の翌年である昭和30年、中城ふみ子はどのような歌人として伝えられたのだろうか。

地域教養学科
吉田 真弓
専任講師

道民カレッジ/
ほっかいどう学コース 1単位

3 ボランティア論
—理論と実際から改めて考える—




6月11日(水)

皆さんがよく知る、「ボランティア」。そもそもボランティアとは何だろうか…基本的な知識を歴史やデータを用いて改めて考えてみます。また、40年以上活動が続く本学の学生サークルの事例からボランティア活動の効果や魅力についてもご紹介します。

社会福祉科
阿部 好恵
准教授

道民カレッジ/
環境生活コース 1単位

4 十勝の美術
～神田日勝記念美術館を中心に～



6月16日(月)

東京生まれ、戦時疎開で鹿追町に入植、営農に従事しながら、戦後洋画壇に独特の足跡を残した夭折の画家神田日勝。その画業と生涯を辿るとともに、北海道の個人名を冠する美術館の先駆者として知られる美術館の活動を紹介します。

神田日勝記念美術館
館長
菅 訓章 氏

道民カレッジ/
ほっかいどう学コース 1単位

5 とかちの自然と歴史
—特に、明治の開拓期の様相—




6月17日(火)

明治中期から本格化した十勝への殖民地入植。国は、入植をより容易にするため『北海道殖民地状況報文』を刊行し、現地に来なくとも現地の様子が判る資料を提供した。その内容は、耕地となる原野の状況だけではなかった。

帯広大谷短期大学
非常勤講師
後藤 秀彦 氏

道民カレッジ/
ほっかいどう学コース 1単位

6 異文化理解
—フィールドワークから見てきたもの—



6月18日(水)

これまで実施してきた国内外のフィールドワークの調査報告について、アラスカから沖縄までスライドを用いてまとめて紹介します。

地域教養学科
岡庭 義行
教授

道民カレッジ/
教養コース 1単位

各講座共通事項

時間／18:30～20:00

定員／20名

場所／帯広大谷短期大学講義室

受講料／250円(資料代等含む)

新刊！帯広大谷短期大学レシピ本『ワンプレート de バランスごはん』ができるまで〈全2回〉

1 献立ができるまで ～学生と教員のかかわり～



生活科学科
北村 和子 助教

6月23日(月)

バランスの良い献立を作成するために、学生は何を学んでいるのか。レシピが出来上がるまでの学生の奮闘ぶりをお話いたします。

本学生活科学科栄養士課程で学ぶ学生と教員・卒業生が考えたワンプレートレシピ集が2014年3月に発行されました。今回はこの『ワンプレートdeバランスごはん』を取り上げて特別講座を企画しました。どんなプロセスを経てこの本ができあがったのか？本学の生涯学習講座だからこそ聞ける先生と出版社のスタッフの方々のエピソードが満載です！



2 本づくりの仕事とは？ 『ワンプレート de バランスごはん』の本ができあがるまで！

6月30日(月)

中西出版
スタッフ

『ワンプレートdeバランスごはん』の本をつくることになったきっかけ、そしてどんな本を作ろうと思ったかの企画案の紹介、それを実際にカタチにしていく過程などを、エピソードを交えながら、本ができるまでのお話をさせていただきます。

道民カレッジ／教養コース（※全2回で3単位） 時間／18：30～20：00 場所／帯広大谷短期大学講義室 定員／20名 受講料／2回 500円（資料代等含む）

今、「鹿」を考える〈全3回〉

1 今、「鹿」を学ぶ意味



生活科学科
関川 三男
教授

10月27日(月)

今、人も鹿も困っています。鹿の被害を減らし、かつ絶滅も防ぐには、生息数を管理することです。北海道シカ条例制定を契機として、鹿の功罪について考えます。現代社会が抱える多くの問題に共通する、深層の意識、忘恩などが浮き彫りになる予感がします。

2 鹿と石器時代人



帯広百年記念館
副館長
山原 敏朗 氏

11月10日(月)

北海道の先史時代の人たちにとって、鹿は生活を営むうえでとても重要な動物でした。遺跡の発掘調査から得られた成果をもとに、石器時代人とくに縄文人の鹿との関わり方についてお話します。

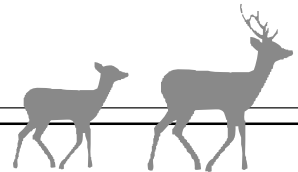
3 今、「鹿」が熱い 一鹿の活用事例一



株式会社エレゾ社
代表取締役
佐々木 章太 氏

11月17日(月)

ジビエの考え方と鹿肉の活用例についてエレゾ社での「鹿」の活用事例や取り組みをご紹介します。



道民カレッジ／環境生活コース 4 単位（※全 3 回で 4 単位） 時間／18：30～20：00 場所／帯広大谷短期大学講義室 定員／20名 受講料／3回 750円（資料代等含む）

1 やさしい中国語会話〈全5回〉



迎春氏

1 6月24日(火)	中国語の基本
2 7月 1日(火)	基本のフレーズを覚えよう (よく使うひとことフレーズ)
3 7月 8日(火)	基本のフレーズを覚えよう (目的別基本フレーズ)
4 7月15日(火)	場面別お役たちフレーズ (街、買い物、レストラン)
5 7月22日(火)	場面別お役たちフレーズ (遊び、電話、旅行)
道民カレッジ/ 能力開発コース 7単位 (※全5回で7単位)	

時間/18:30~20:00

場所/帯人大谷短期大学講義室

定員/20名

受講料/5回 1,250円(資料代等含む)

2 初めてのフランス語〈全5回〉



翻訳家
高橋 啓 氏

1 8月27日(水)	あなたの知ってる フランス語
2 9月 3日(水)	フランス語と英語の ちがひ
3 9月10日(水)	フランス語のあいさつ
4 9月17日(水)	ホテルやレストランで
5 9月24日(水)	フランス語と「フランス」
道民カレッジ/ 能力開発コース 7単位 (※全5回で7単位)	

時間/18:30~20:00

場所/帯人大谷短期大学講義室

定員/20名

受講料/5回 1,250円(資料代等含む)

3 【JICA連携講座】国際協力の仕事~十勝と世界をつなぐJICA帯広~〈全3回〉



1 9月30日(火)	政府開発援助(ODA)とJICAの役割 JICA 北海道国際センター(帯広) 専任参事 村田 俊一 氏
2 10月 7日(火)	国際協力の現場を通して~青年海外協力隊体験談~ JICA北海道国際センター(帯広) 3月末モザンビークより帰国 細矢 孝弘 氏
3 10月14日(火)	国際協力の現場を通して~シニア海外ボランティア体験談~ 7月ベリーズより帰国 千葉 元子 氏
道民カレッジ/環境生活コース 4単位 (※全3回で4単位)	

時間/18:30~20:00

場所/帯人大谷短期大学
講義室

定員/20名

受講料/3回 750円
(資料代等含む)